

かながわ子ども・子育て支援大賞 (1件)

特定非営利活動法人 はぐはぐ 代表 三澤 米子

所在地	寒川町
活動地域	湘南地域(寒川、藤沢、茅ヶ崎)
活動開始	平成19年4月
受賞対象となった活動概要	法人のサロンの中で、地元の高校生を対象に、保育体験ボランティアを実施。赤ちゃんや乳幼児とふれあう体験をとおり、将来の職業選択や子育ての喜び、大変さ等を学ぶ機会となっている。保育体験の前には、保育の基礎講座や、助産院、小児科での研修の場を提供している。
活動の特色	保育体験ボランティア前の研修では、助産院では生まれたばかりの赤ちゃんとのふれあい、小児科では健診の手伝い等、実践的なふれあい体験の研修を実施。
選考理由	少子高齢化や核家族化により、子育てを身近に体験する機会がないままに親となる若者が増えている。その中で、高校生が赤ちゃんや乳幼児にふれあう体験をすることは、命の大切さや子育ての喜びを学ぶ貴重な機会である。さらに助産院や小児科等の地域の機関を巻き込んだ活動は、地域全体での子育て支援に取り組む活動として高く評価された。
表彰履歴	

【事業者部門(3件)】

生活協同組合ユーコープ 理事長 當具 伸一

所在地	県内全域
活動地域	県内全域
活動開始	平成22年7月
受賞対象となった活動概要	学童期の子どもと親が店舗の仕事(品出し、仕入れ、店内アナウンス、レジ打ち、接客、商品の陳列)や、産直農家の畑での収穫等を体験する。県内11店舗で実施している。
活動の特色	仕事体験の内容は、各店舗で特徴のある取組みを展開し、消費者としての学びにつながっている。参加者は組合員のみならず、多くの親子に口コミで広がっている。
選考理由	学童期の子どもを対象とした店舗の仕事体験は「生活者力」「消費者力」の向上につながる活動である。各店舗で体験内容は工夫されており、特に産地農家の畑での収穫体験、運搬、袋詰め、値付け、陳列体験は、子どもたちが生産、流通、消費の一連を体験できる貴重な場として高く評価された。
表彰履歴	・第5回かながわ子ども・子育て支援大賞奨励賞

株式会社アマダ 人事部長 山崎 正浩

所在地	伊勢原市
活動地域	伊勢原市
活動開始	平成20年4月
受賞対象となった活動概要	社員の家族、近隣小学校を対象に、会社見学会や、市内中学生を対象に職場体験の受け入れを実施。また、参観日休暇制度の導入や、男性社員に対する育児休業取得促進により、父親も積極的に子育てに参加できる環境を整備している。
活動の特色	社員家族見学会や、近隣小学校の社会見学受入、中学生職場体験の受入、参観日休暇、次世代育成手当、男性社員に対する育児休業取得促進等、多様な取組みを実施している。
選考理由	社員の家族、近隣小学校を対象とした会社見学や職場体験の受け入れ等の地域全体の子育て支援と、参観日休暇制度の導入、男性職員に対する育児休業促進等の企業内の子育て支援体制整備の双方に精力的に取り組む姿勢は高く評価された。企業による子育て支援として他の企業のモデルとなる活動である。
表彰履歴	なし

神奈川県公衆浴場業生活衛生同業組合 理事長 山崎 潤一

所在地	横浜市南区
活動地域	県内全域
活動開始	昭和34年2月
受賞対象となった活動概要	公衆浴場に子どもが利用しやすい料金設定や施設整備を行い、親子で銭湯を楽しみ、様々な世代が集まる地域コミュニティの場所として利用してもらう。夏休みには、小学生親子を対象に「親子裏方体験ツアー」を県内10店舗で実施し、36家族89名が参加。
活動の特色	地域の社交場として伝統のある銭湯で、銭湯の特色を活かした子育て支援に取り組んでいる。
選考理由	地域の社交場として伝統のある銭湯で、子ども達が利用しやすい環境を整え、親子のふれあいや世代間交流を提供する活動は、地域コミュニティの活性化による子育て支援に取り組む活動として高く評価された。「親子裏方体験ツアー」の親子で釜場のカタキ等の体験をする企画は、子ども達に日本の文化を伝える活動としても評価される。
表彰履歴	なし

かながわ子ども・子育て支援奨励賞

【個人・団体部門(2件)】

ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf 代表 大下 利栄子

所在地	葉山町
活動地域	神奈川県中心に全国
活動開始	平成20年7月
受賞対象となった活動概要	市販の絵本を解体し、本文を点字化した透明シートを挟み再製本したユニバーサル絵本の作成と貸出しを実施。全盲児のいる家庭とともに、学級にも長期に貸出している。現在蔵書数280冊。また、高校と連携し、授業や部活としても点字絵本の製作を働きかけている。
活動の特色	この点字付絵本は見えない子どものためだけでなく、見えない子と見える子、兄弟家族と一緒に使い、楽しめることで、時と場を共有できるツールとなる。
選考理由	ユニバーサルデザインの点字付絵本の作製と貸出しは、見えない子どものためだけでなく、見えない子と見える子、家族と一緒に使うことで、時と場を「共有」するノーマライゼーションのための活動として評価された。また高校の授業等における点字絵本の製作も働きかけており、教育的意義も高い。
表彰履歴	<ul style="list-style-type: none"> 横浜YMCA「夢すくすく賞」特別賞 神奈川ボランティア活動奨励賞 神奈川チャリティーアクション・キャンペーン「共感発信プロジェクト」審査員特別賞

心臓病児自主保育グループ横浜こぐま園 代表 檜垣 暁子

所在地	横浜市神奈川区
活動地域	横浜市内全域
活動開始	昭和 52 年 4 月
受賞対象となった活動概要	心臓病のこどもを守る会横浜支部の活動。就園前の心臓病児の地域訓練会として病児のペースに合わせた自主保育活動を実施。季節ごとのイベントや遠足の開催、勉強会、親同士の情報交換を行なっている。
活動の特色	心臓病児が集団生活の楽しさを知り、自立することの喜びを見出せるよう、保育者と保護者が協力して保育を行なっている。
選考理由	幼稚園や保育園では受け入れが難しい重症心臓病児のための保育グループとして設立し、制度的に整っていない部分を保護者が主体的に実施してきた活動である。子どもたちが集団生活の楽しさを知り、自立の喜びを見出せる活動、及び親にとっても貴重な情報交換の場となっており、高く評価された。
表彰履歴	なし

かながわ子ども・子育て支援特別賞 (1件)

特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

理事長 島田 徳隆

所在地	横須賀市
活動地域	横須賀市
活動開始	平成 16 年 4 月
受賞対象となった活動概要	地元商店街の空き店舗を活用して設立し、ひきこもり、不登校等の青少年の社会参加を支援するため、相談、カウンセリング、フリースペース、学習サポート、就労支援を軸に活動を行なっている。商店街のお祭りやイベントへの参加、就労支援では商店街の店舗で販売体験等を取入れている。
活動の特色	青少年の自主性を尊重し、自己肯定感の向上を図り、安心できる場所づくりに取り組んでいる。
選考理由	ひきこもり、不登校等の青少年の社会参加を支援する活動の中で、商店街のお祭りやイベントへの参加や、就労支援では商店街の店舗で販売体験をする等、商店街活動の担い手として子ども達が活躍しており、NPO と商店街の連携としてもモデルとなる活動である。
表彰履歴	・子ども若者育成・子育て支援功労賞表彰 内閣府特命担当大臣表彰